

重点 施策	目指す市 民の姿	基本 施策	行動 目標	事業の 方向性	実施担当課	担当課	担当課評価理由
					(健康はだの21 重点施策No.基本施策No. 行動目標No. 参照ページ)	評価	課題と今後の方向(改善案)
4 生活 習慣 の改 善と 病氣 の予 防	生活 習慣 の改 善と 病氣 の予 防に より、 健康 で自 分ら しく 過こ す	4-1	1	1 2 3 4 メ定受地 々期診域 ボの後や リに、関 ツ個係 ク康人機 シ診で関 ン査健と ドが康連 ロ受管携 ーけ理し ムらす、 及れる生 びるた活 生よめ習 活うの慣 習な支病 慣体援対 病制策に を制に取 関備充組 す実をま す。りま す。す。 の普及 及啓発 を実施 します。	<p align="center">⑬ <健康づくり課> (重点施策4 基本施策4-1 行動目標1 pp. 57-65)</p> <p align="center">平成29年度実施計画</p> <p>1 メタボリックシンドローム及び生活習慣病の知識の普及啓発 (重点2 基本2-1 行動1 1-② 再掲)</p> <p>①食育講座の開催 ・生活習慣病予防のためのクッキングセミナー 3回/年</p> <p>2 市民健康診査の体制整備</p> <p>① 市民健康診査普及啓発と登録環境の整備 ・ホームページからの電子申請 ・公共機関や医療機関に申込書を設置 ・健康づくり課イベントや講座実施時にも登録用紙や案内、登録ブースの設置</p> <p>② 市民健康診査の実施 対象者数19873人 ・受診者数7000人 受診率35.2%</p> <p>3 地域や関係機関と連携した取り組み(再掲)</p> <p>①メタボリックシンドローム及び生活習慣病の知識の普及啓発 の再掲 食生活推進団体と連携した普及啓発の実施 2回/年</p>	B	<p>・生活習慣病の重症化予防の観点も踏まえた、講座が展開できたが、参加者が少なく、より多くの方に周知する必要があるため、Bとした。</p> <p>・すべての事業の継続実施し、若い世代向けに、生活習慣病予防の取り組みが必要です。平成30年度からは近隣大学との連携により、市内各地に出向いて、市民が健診(検診)を受診するきっかけづくりとなるように健康測定ができる、「健康バス」事業を開始する。</p>
					平成29年度実施状況	平成29年度実施状況	
					<p>1 メタボリックシンドローム及び生活習慣病の知識の普及啓発 (重点2 基本2-1 行動1 1-② 再掲)</p> <p>→ ①食育講座の開催(施策2の再掲) 3回/年実施 延べ参加者数 48人</p> <p>→ 2 市民健康診査の体制整備</p> <p>→ ① 市民健康診査普及啓発と登録環境の整備 39歳以下登録者数 790人 (75歳以上は登録不要)</p> <p>→ ② 市民健康診査の実施 75歳以上対象者数 19,595人 ・受診者数7,053人 受診率35.9% 39歳以下登録者数 790人 ・受診者数309人 ・受診率39.1%</p> <p>→ 3 地域や関係機関と連携した取り組み(再掲)</p> <p>→ ①メタボリックシンドローム及び生活習慣病の知識の普及啓発 の再掲 ・市民の日 健康食の展示とレシピ配付 200人 アンケート 400人 ・保健福祉センターフェスティバル 健康食の展示 来場者 235人</p>	<p>・受診率の目標値に達することができなかったが、県内での特定検診受診率順位が上がったため、Bとしたが、さらに受診率アップのための工夫が必要です。</p> <p>・生活習慣病を予防するためには、特定健康診査の受診率の向上をはかり、特定保健指導を受けてもらう取組を強化していく。 ・また、健診を受診し異常値が出ても、病院受診をしない方に対し、受診を促すなど、生活習慣病の重症化を予防する取組を展開する。</p>	
					平成29年度実施計画	平成29年度実施状況	
<p>⑭ <国保年金課> (重点施策4 基本施策4-1 行動目標1 pp. 57-65)</p> <p align="center">平成29年度実施計画</p> <p>1 特定健康診査の体制整備</p> <p>① 特定健康診査の実施(第2期秦野市特定健診実施計画より) 受診率45.0%</p> <p>② 特定健康診査受診率向上のための普及啓発 ・国民健康保険税決定通知書に「特定健診を受けましょう!」のチラシを同封 ・その他イベント等での活動 ・公共施設 ・イオン ・センタフェスティバル ・市民の日 ・民児協等各種団体向け出前講座(座学に加え、プチ保健指導を実施)</p> <p>③特定健康診査未受診者対策 受診勧奨通知を発送 年3回 受診勧奨の電話かけの実施 通年</p> <p>④ 地域や関係機関と連携した取り組み ・商工会議所と連携し生活習慣病検診及び特定保健指導を実施</p> <p>2 健診後の支援</p> <p>①特定保健指導の実施 特定保健指導終了率 26.0%(目標値)</p> <p>②特定保健指導における支援方法の充実 ・メタボ改善のためのミニ講座(新規事業) 特定保健指導利用者を対象とし生活習慣改善のための実践支援の講座の開催 ・スリムアップバランス料理講座 7回/年</p>	B	<p>・生活習慣病を予防するためには、特定健康診査の受診率の向上をはかり、特定保健指導を受けてもらう取組を強化していく。 ・また、健診を受診し異常値が出ても、病院受診をしない方に対し、受診を促すなど、生活習慣病の重症化を予防する取組を展開する。</p>					
平成29年度実施計画	平成29年度実施状況						
<p>1 特定健康診査の体制整備</p> <p>→ ① 特定健康診査の実施(平成29年度法定報告結果【速報値】より) 対象者数29,093人 ・受診者数9,688人 受診率33.3%【前年比-0.5%】 → 県内の受診率順位 11位 前年12位(市のみだと5位、前年6位)</p> <p>→ ② 特定健康診査受診率向上のための普及啓発</p> <p>イベント等での活動 ・イオン 配布枚数 1,100枚 ブース来場者 73人 ・センタフェスティバル 配布枚数 200枚 ・市民の日 配布枚数 700枚 ブース来場者 840人 ・民児協等各種団体向け出前講座 3回開催</p> <p>→ ③特定健康診査未受診者対策 受診勧奨通知を発送 年2回 受診勧奨の電話かけの実施実人数 1,733人(受診につながった人 45人)(H30.6.21現在)</p> <p>→ ④地域や関係機関と連携した取り組み ・商工会議所と連携し生活習慣病検診及び特定保健指導を実施</p> <p>2 健診後の支援</p> <p>→ ①特定保健指導実施(平成28年度法定報告) 初回面接 36回実施(個別支援方法21回 グループ支援方法15回) 訪問等、日程外での初回面接69回 ・対象者数 997人(動機付け支援 807人 積極的支援109人) ・終了者数 184人(動機付け支援161人 積極的支援23人) ・終了率 18.5%(動機付け支援20% 積極的支援12.1%) … 前年度より0.5ポイント減 特定保健指導終了面接聞き取り票の結果 ・体重が減少した人の割合 62%(男性64% 女性59%) … 前年度72% ・腹囲が減少した人の割合 59%(男性59% 女性59%) … 前年度60% ・参加前と比べ、食生活が改善された人の割合 67%(男性65% 女性69%) … 前年度70% ・参加前と比べ、活動量(運動)が増加した人の割合 37%(男性41% 女性32%) … 前年度52% ・健康づくり継続の意思がある人の割合 93%(男性94% 女性93%) … 前年度98%</p> <p>→ ②特定保健指導における支援方法の充実 8回/年実施 参加者数 24人(平成29年度) 人数が減少したため、周知方法や内容についての見直しが必要。 7回/年実施 延べ参加者数 70人 計画どおり実施できたが、参加者数が減少したため、講座内容を改善する必要あり。</p>	<p>・生活習慣病を予防するためには、特定健康診査の受診率の向上をはかり、特定保健指導を受けてもらう取組を強化していく。 ・また、健診を受診し異常値が出ても、病院受診をしない方に対し、受診を促すなど、生活習慣病の重症化を予防する取組を展開する。</p>						
平成29年度実施計画	平成29年度実施状況						

4 生活習慣の改善と病気の予防	生活習慣の改善と病気の予防により、健康で自分らしく過ごす	4-1 よりよい生活習慣の確立に向けた支援	2 歯を大切にしよう	12 定期的な歯周病診療の予防に力をつけて、歯を健康に保ちます。歯周病の予防に力をつけて、歯を健康に保ちます。	⑮ <健康づくり課> (重点施策4 基本施策4-1 行動目標2 pp. 66-68)	B	・計画通り事業は実施された。歯周病検診の受診率向上のため、体制整備をすることで受診率が向上することができたが、いまだに低い数値のため、Bとした。 ・事業を関係機関と連携しながら継続実施し、歯科口腔衛生の必要性についての普及啓発をより積極的に進める。 ・妊婦歯科健康診査を平成30年度から新規実施予定。
					平成29年度実施計画	平成29年度実施状況	
					1 歯科口腔保健の普及啓発 ①歯と口の健康週間の実施(秦野伊勢原歯科医師会と共催) 講演会 年1回 歯科相談等の実施 フッ化物塗布事業 ②秦野市食生活改善推進員養成講座 高齢者の口腔状態と口腔ケア 2 健診(検診)の体制整備 口腔がん検診 2回(秦野伊勢原歯科医師会と共催し、6月の「歯と口の衛生週間」と10月に実施) 歯周病検診(40歳、50歳、60歳、70歳の者を対象:節目検診) 3 歯科口腔保健の普及啓発 ①健康教育・集団指導の実施 ・幼児食と歯のセミナー 11カ月児～1歳3カ月児と親を対象 ・乳幼児健康診査 7カ月児健診: 歯科集団指導 1歳6カ月児健康診査: 歯科健診と歯科相談 2歳児歯科健康診査: 歯科集団指導、歯科健診、歯科相談、フッ素塗布 4 健診(検診)の体制整備 乳幼児健康診査(再掲)	→ ①歯と口の健康週間の実施(秦野伊勢原歯科医師会と共催) 講演会 参加者人数 174人 歯科相談 実施者数 53人 フッ化物塗布 261名 → ②秦野市食生活改善推進員養成講座(再掲) 講座 1回 受講者8名 → ②健康教育・集団指導の実施 口腔がん検診 2回実施 受診者数 48人(うち、経過観察者数4人 要精検者数7人) 歯周疾患検診 対象者数 9,577人 受診者数 502人 受診率 5.2% 受診率向上のため、受診開始時期を1か月早めて、歯科休日診療所での受診ができるようにするなど、受診しやすい体制を整備した。	
					⑯ <高齢介護課> (重点施策4 基本施策4-1 行動目標2 pp. 66-68)	A	・他の普及啓発事業後の活動の継続に課題が残るが、介護保険法の改正に伴い、要支援者等への訪問サービスや講座を遅滞なく開始でき、実施できている。 ・訪問型サービスを効果的に実施できるよう、内容の充実を図る。 ・8020推進員と連携して普及啓発を実施していく。 ・より多くの対象者へ口腔機能向上の普及啓発ができるよう、笑ヨガ講座や認知症予防講座等に合わせて複合的に事業を実施していく。
平成29年度実施計画	平成29年度実施状況						
1 歯科口腔保健の普及啓発 ①介護予防普及啓発事業 ・口から始まる若返り術 4回/年(2日間) ・歯つらつ歯っぴー倶楽部OB会 対象者の拡大 2回/年 ・すっきり排泄トラブル解消講座 4回/年 ・出前講座 20回/年 ②口腔機能向上 訪問事業 ・介護予防・日常生活支援総合事業(3～6か月コース) 要支援者等に対し効果的に支援できるよう、内容の充実を図る。 ・訪問指導(単発)	→ ①介護予防普及啓発事業 ・口から始まる若返り術 2回/年(2日間) 4回 実48人 延 89人 ・口腔に関する健康講座のOB会 1回/年 実44人 新規 ・すっきり排泄トラブル解消講座 2回/年(2日間) 4回 実46人 延 79人 ・出前講座 ・ミニデイ 21回/年 延312人 9回/年 延248人 → 新規 ②口腔機能向上 訪問事業 ・介護予防・日常生活支援総合事業(3～6か月コース) 訪問対象者 4人 延28回 ・訪問指導(単発) 訪問対象者 3人 延3回						

4	生活習慣の改善と病気の予防	4-2	1	12	<p align="center">⑰ <健康づくり課> (重点施策4 基本施策4-2 行動目標1 pp. 69-71)</p> <p align="center">平成29年度実施計画</p> <p>1 がん検診の体制整備</p> <p>① がん検診登録環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19～34歳の女性および39～59歳の男女(5歳刻み年齢)への登録勧奨案内 ・QRコード及びホームページからの電子申請 ・公共機関や医療機関に申込書を設置 ・健康づくり課イベントや講座実施時にも登録用紙や案内、登録ブースの設置 ・子宮がん乳がんの検診受診年齢到達者への無料クーポン <p>②がん検診の実施機会の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施医療機関、集団検診の確保 ・集団検診でのレディスデイ(女性医師による女性に特化したがん検診)の実施と土曜 <p>③がん検診の実施、がん検診登録者へ広報等を通じた受診勧奨の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん 集団 ・大腸がん 集団 ・乳がん 個別・集団 ・子宮がん 個別・集団 <ul style="list-style-type: none"> ・肺がん 個別・集団 <p>③精密検査未受診者への対応 精密検査未受診者へ通知</p> <p>④がん検診の精度管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん施設検診機関連絡会の実施 ・集団・個別各検診について、読影や連絡会の実施 <p>2 がん予防の普及啓発</p> <p>①がん検診受診率向上キャンペーンの実施</p> <p>②たばこ祭り、市民の日、センターフェスティバルでがん検診登録ブースを設置</p> <p>③各健康教育でがん検診登録ブースを設置</p> <p>④公用車に「受けよう！健診・がん検診」ポスターを掲示</p> <p>⑤1歳6か月児健診で「がん検診・乳房自己触診のすすめパンフレット」配布</p> <p>⑥子宮頸がんワクチンの情報提供</p> <p>現在定期接種事業だが、積極的勧奨はしない。状況に応じて普及啓発開始。</p>	B	<p>・計画どおり、がん検診整備体制が進み、20代～50代の登録者数が増加したが、がん検診の受診率については目標値に届かないため、Bとした</p> <p>・事業の継続実施</p> <p>・女性特有のがんの受診率や働く人の受診率向上に向けた検診の場を設定した。レディスデイや土曜日開催についても、さまざまなライフスタイルの方にも受診できる機会をつくる取組を継続することが必要である。</p> <p align="center">平成29年度実施状況</p> <p>1 がん検診の体制整備</p> <p>① がん検診登録環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> → がん検診年齢到達者(20歳、40歳)へ登録勧奨案内通知 2982人(20歳女性 798人、40歳 男性1167人 女性1017人) → QRコード及びホームページからの電子申請 1285人(申請者 前年度比 142.5%) → 公共機関や医療機関申込書1906人(設置医療機関を、市内から市外の検診機関に拡大し、申請者 前年度比 108.9%) → 20～50代の若い世代の登録者数 1692人(申請者 前年度比 108.0%) → 子宮がん 受診者3471人/対象67544人 受診率5.5%(11.0% 注1) 乳がん 受診者3849人/対象51076人 受診率7.5%(14.2% 注1) <p>②がん検診の実施機会の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> → 実施医療機関、集団検診の確保 → 乳がん検診において土曜日の検診日を設定 <p>③がん検診の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> → 受診率 男性 3.9%、女性 8.7% (50～69歳の受診率) → 受診率 男性 3.9%、女性 11.1% (40～69歳の受診率) → 受診率 女性 17.5% 注1 (40～69歳の受診率) 注1:国の算定式を用いた2年に1回受診した受診率 → 受診率 女性 12.1% 注1 (20～69歳の受診率) → 受診率 男性 3.5%、女性8.9% (40～69歳の受診率) <p>③精密検査未受診者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> → 通知者 H28年度未受診者244人 H29年度未受診者2534人(述べ) 通知回数 3回 参考 平成28年度 全がん検診精密検査受診率 84.3% (受診率許容値以下 肺がん68.9%) → ④がん検診の精度管理 <p>集団・個別各検診について、読影や連絡会の実施 平成29年度から乳がん施設検診連絡会開催</p> <p>2 がん予防の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> → ①がん検診受診率向上キャンペーンの実施(保健福祉事務所、国民健康保険担当部署、けんぽ組合と共催開催) → ②たばこ祭り、市民の日、センターフェスティバルでがん検診登録ブースを設置(h29ブース来客者は登録済み) → ③各健康教育でがん検診登録ブースを設置 → ④公用車に「受けよう！健診・がん検診」ポスターを掲示 → ⑤1歳6か月児健診で「がん検診・乳房自己触診のすすめパンフレット」配布(7名登録有) → ⑥子宮頸がんワクチンの情報提供 <p>現在定期接種事業だが、積極的勧奨はしない。状況に応じて普及啓発開始。</p>
					生活習慣の改善と病気の予防	がん対策の充実	がんを予防し、がん検診を受けよう

4 生活習慣の改善と病気の予防	4-3 生活習慣の改善と病気の予防により、健康で自分らしく過ごす	1 感染症等に関する正しい知識の普及啓発	123 新感染症インフルエンザや季節性重篤な感染症への感染予防に関する情報や啓発をします。	⑱ <健康づくり課> (重点施策4 基本施策4-3 行動目標1 pp. 76-77)	A	計画どおり事業は実施され、その実績も目標に概ね達成しているためAとした。 ・事業の継続実施肺炎球菌予防接種の経過措置は平成30年度で終了し、65歳のみとなるので、今後は接種目標の見直しを検討する。 ・引き続き子宮頸がんワクチンについては積極的勧奨をせず、リスクを検討して受けるように周知する。
				平成29年度実施計画	平成29年度実施状況	
				1 情報の提供と普及啓発 ①食中毒予防キャンペーンの実施 ②熱中症及び食中毒の予防啓発やノロウイルス等に対する注意喚起を、広報・HP、乳幼児健診にて実施 2 予防接種の実施 ①インフルエンザ予防接種の高齢者向け助成 ・65歳以上の者(対象者数:46,031人) ・60歳以上65歳未満で心臓、じん臓、呼吸器の機能に障害等のある人 ②肺炎球菌予防接種の高齢者向け助成 ・65歳以上の者 ・60歳以上65歳未満で心臓、じん臓、呼吸器の機能に障害等のある人 3 新たな感染症への備え ①新型インフルエンザ等対応訓練の実施	→	1 情報の提供と普及啓発 ①食中毒予防キャンペーンの共催1回 8月イオンで実施 ②熱中症及び食中毒の予防啓発やノロウイルス等に対する注意喚起を、広報・HP、乳幼児健診にて実施 2 予防接種の実施 ①インフルエンザ予防接種の高齢者向け助成 実施率41.0% 18,882人/46,031人 49人 ②肺炎球菌予防接種の高齢者向け助成 実施率 42.5% 4,632人/ 10,896人 (助成で接種した人数であり、自費で接種した人を含まない) 65歳再掲 1,156人/2,390人 48.4% 0人 3 新たな感染症への備え ①新型インフルエンザ等対応訓練(机上訓練)の実施
				②こどもの予防接種 ・Hib ・小児用肺炎球菌 ・四種混合 ・BCG ・麻疹・風疹 ・水痘 ・日本脳炎 ・二種混合 ・B型肝炎ワクチン ・子宮頸がん予防ワクチン 子宮頸がんワクチンについては積極的勧奨をせず、リスクを検討して受けるように周知。 定期予防接種については、広報や乳幼児健診で勧奨 ②妊娠を希望する女性やその配偶者に風疹の予防接種の助成	→	②こどもの予防接種 1回目接種者 997人/対象者 1,000人 実施率 99.7%(1回目の接種者数から接種率を算定) 1回目接種者 998人/対象者 1,000人 実施率 99.8%(1回目の接種者数から接種率を算定) 4回接種者 4,135人/対象者 4,152人 実施率 99.5% 接種者 997人/対象者 1,000人 実施率 99.7% 1期接種者 983人/対象者 1,153人 実施率 85.3% 2期接種者 1,203人/対象者 1,312人 実施率 91.7% 計2回接種者 2,014人/対象者 2,306人 実施率 87.3% 1期初回接種者 2,429人/対象者 2,384人 実施率 101.8%、 追加接種者 1,281人/対象者 1,265人 実施率 101.3%、 2期接種者 1,182人/対象者 1,415人 実施率 83.5% 接種者 1,049人/対象者 1,418人 実施率 74.0% 接種者3回計 2,950人 28年10月から定期接種開始 1回目接種者 1人、2回目接種者 1人、3回目接種者 1人 計3回接種者 3人/対象者 2,160人 実施率 0.13% MR 192人(女155、男37)単抗原ワクチン 21人(女18、男3)の接種者合計 213人